

別世界への新たなるチャレンジ

勉強が嫌いな私は高校を卒業後、食品会社に就職し毎日、日本橋まで3年間通い、OLをしていましたが、幸せなことに寿退社し、主人の転勤で仙台に6年間住んでいました。

結婚する前からサーファーの主人に連れられ夏だけは海で海水浴程度にボディボードをしていましたが、結婚後、本格的にボディボードにハマってしまった。当時23歳。仙台にお友達もいない私は、時間があればひたすら海へ通っていました。「もっと上手になりたい」ただひたすらそれだけを考えていたのです。

そんな時プロボディボーダーのスクールがあるというので参加し、更に楽しさを知りボディボード付けの日々。

お金をかけずにボディボードをするには「スポンサーをつけるしかない！！」「そのためには大会に出て勝つことだ！！」と考え、ボディボードを始めて2・3年してから大会に出始め、地元の小さい大会からスタートし、アマチュアの大きいコンテストでいい成績を残し、これでプロになれる！！と自信を持ちボディボードを始めて時からの夢だったプロ世界へ。

アマチュアの時代から、常にファイナリストになるようになっていたのでスポンサーもつき、ボディボードをするのにお金がかからなくなってきていましたが、プロになったら世界ツアーに出る費用もスポンサーが出してくれ「こんな幸せなことがあるのか」といつも思っていました。

プロになると大会に出るだけではなくボディボードのスクールで全国各地にも行きました。そこで私は「教えることが好きなんだ。」と年々確信していったのです。

そんな時スポーツの専門学校のマリン学科でボディボードを教える機会を得ました。

この時はじめてボディボードを教える難しさを知ったといえます。

メインは海での講義だったのですが毎時間反省。大変だったけど本当に楽しかった。

生徒不足で学科がなくなってしまう講師は終了してしまいましたが、4年間教え終わった時、当たり前なのですが、生徒達1人1人の考えていることが違い、取る行動も違うという事に興味を持ち、心理学を勉強したいと思ったのです。

心理学を勉強するには「大学に行かなくてはいけない！！」と勝手に思い込み、ボディボードの仕事もあるし、考えた末、通信大学で心理学を専攻しているところを探し、テストを受け、合格してしまい、主人の反対を押し切って入学。

やりたいことだったけれど何も考えずに入ってしまった私には、とっても辛かった！！
と言うより、今現在も辛い！！

臨床心理士になりたいと思っていたが今は方向が違うかな？！と思い始めてもいます。
まだ後数年、大学生をやらなくてはいけないけれど、今勉強している事を必ず仕事にしたいと思って頑張っています。

数年かけてプロボディボーダーになり、十数年たつ今もその仕事を続けているのだから心理学（カウンセラー）においても数年、数十年かけて仕事にしていこうと計画しています。

私の好きな言葉は「Dream come true」夢は必ず叶う。
でも夢を叶えるためには努力なくして夢は叶わない。

私の人生に「勇気と根性と楽しさと自信」、たくさんの事を与えてくれたのはボディボードとの出会いだった、だから心理学の仕事についたら（カウンセラー）私に出会った人に「勇気と根性と楽しさと自信」、たくさんの事を与えていけるような仕事をしたいと思い、今現在を乗り切っている感じです。

自分の好きなことしか仕事に出来ない私だから、主人や周りの人たちの助けがあってできているのです。だから「自分だけが頑張っている。」とは思わないように常に心がけるようにしています。

女性が仕事をするにあたり大切なことであり、そうしていれば気持ちよく仕事ができるから。

プロボディボーダー 鈴木 薫

Profile

名前 鈴木 薫 (スズキ カオル)
生年月日 1969年 4月 22日
東京出身 茅ヶ崎在住

1998年プロ転向、2003年コンペディター引退。
コンテストに出ながら、スポンサーのボディーボードスクールを続け、
2000年から2004年まで専門学校 SEA 学園のボディーボード講師として
ボディーボードを教え2004年からジャッジへ転向。
現在 JPBA コンテストツアージャッジとしてツアーを回っている。

スポンサー Local motion <http://www.localmotionhawaii.com/>
Nadeshiko shine
Zurklplus
URL www.kaorubb.com